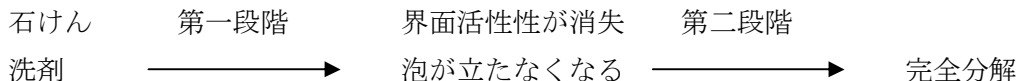


ヤシノミ洗剤の微生物分解性（生分解性）

（サラヤ株式会社 ヤシノミ洗剤技術資料より抜粋）

せっけん、洗剤の生分解性は、次の2段階に大別できます。



J I S法による一般的な微生物による生分解性の測定方法は、第一段階までで台所用洗剤では90%以上の生分解性が必要とされています。この方法では、化学系合成洗剤の中でも生分解性のよいとされている界面活性剤である直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩（L A S）及びヤシノミ洗剤（ヤシ油を基礎原料とする界面活性剤成分）の陰イオン成分並びに非イオン成分はすべて14日目の分解率測定値で～98%以上を示します。

しかし、本当に界面活性剤が分解したとするには第二段階まで（炭酸ガスと水まで分解）測定してはじめて真の分解速度が得られます。その測定方法にクローメーター法があります。その測定結果をグラフ化したのが下図です。ヤシノミ洗剤は、天然石けん以上の分解速度を示し、L A S並びにL A Sを用いた合成洗剤にくらべより速やかな生分解性を示します。

